

平成21年度 第4回高梁市地域公共交通会議議事録（要約）

日時：平成22年 1月21日（木）14:00～16:00

場所：高梁市文化交流館3階講座室

1. 開会

事務局：開会のあいさつ

2. あいさつ

会長あいさつ

事務局：会議成立確認（過半数出席確認：委員15名中11人出席）

規定により会長に議事進行をお願いしたい。

3. 議事

(1) 高梁市地域公共交通総合連携計画目標、基本方針及び事業の検討について

VL（バイタルリード）説明：別紙「高梁市地域公共交通総合連携改革策定調査 事業の検討」参照

○委員：バスの運行見直しに際して手順、手続きはどのようになるのか。また、我々住民は収支率などの状況もわからず、住民との協議などはどのように考えているのか。

○事務局：基本的に路線を廃止して、移動手段をまったくなくすという計画ではない。地域別に皆さんの生活を支える公共交通のあり方を住民の皆さんと一っしょに考え作っていきたいと考えている。

○委員：数年前、住民に何も知らされないまま突然バスが廃止になった経験があるので今後も同様の事態が起こることを心配している。

○事務局：民間運行事業者の場合、以前はそうしたこともあったが、今回の場合は、運行事業者のみが考えるのではなく、この会議で、また地域の住民のみなさんと交通サービスについて一っしょに考えていくので、突然廃止になるということはない。

○専門員（岡山県）：補足として、合併以前の旧市町村単位をまたがる路線を廃止する場合は、紳士協定によりバス運行事業者から6ヶ月前に報告していただくようになっており、県とバス事業者と地元市町村で構成する会議で代替交通の必要性等を協議している。なお、旧市町村をまたがらない路線については、対象としていない。

○委員：一般にこうした会議では、やる話ばかりで、やめ方等を協議する会議がない。どこをやめる必要があるのか、どのくらい前に住民に知らせ、住民サイドで立て直す時間があるのかなど非常に大切である。住民が利用促進に取り組んでも、結果が出るまでには時間もかかり、そうしたことも考慮する必要がある。バス路線は住民が乗って残すということが基本であり、見直し基準対象となった場合、どうしたら残せるかという方法も計画

書に盛り込んでもらいたい。作る協議に併せてやめる条件も協議する必要がある。

循環線のバス料金 160 円をシャトルバスの料金 100 円に合わせて 100 円に落とす必要があるのか。資料を見る限り、100 円と 160 円の料金差による影響はあまりないように思われる。中央病院経由とすることによる増収の裏づけがあればいいが、単に収支率が落ちるのではないか。

○事務局：循環線利用者の大半は、シャトルバスが運行していない朝の通学利用であり、大学生のアンケート調査の自由意見でも、料金差を指摘する意見がある。料金を値下げしてどの程度の収益を確保できるかを実証運行で確認したい。また、アンケート等でも中央病院やポルカへのバス路線要望が多く、現在のバス停は、土手の上にあつて、病院までの坂道が高齢者の負担になっている。バス停を中央病院の近くに設けることによってどの程度利用が増えるのかなど、先の収支率とも合わせて、本格運行ではなく、実証運行で確認したい。

○委員：路線を延長すると乗車時間や運行間隔が延びるなど利便性の低下により利用が減る可能性もある。

○事務局：朝の通学便は、現状ルートでの運行とするなど、そのあたりは実際に利用する大学生や住民の方といっしょにサービスを作っていく必要があると認識している。

○専門員(岡山県)：100 円に下げた場合、60 円は誰が負担するのか。シャトルバスはイズミが負担しており、そのあたりの調整を図らないと計画は絵に描いた餅になる。

○委員：市内循環線については昨年 6 月の 1 ヶ月間試行的に 100 円での運行を行った。結果としては、利用者は若干増えたが、収支率は下がった。また、同路線は路幅が狭く、利用が増えても、車両を大型化できない問題がある。

運行事業者としては、今後ともコスト削減に取り組み、不採算路線についても、基本的に廃止しないように努力したいと考えおり、その点をご理解いただきたい。

○会長：見直し基準の運用について、また、循環線の料金値下げ等についての意見についてどのように考えるのか。

○事務局：見直し基準の運用については、これまでの例でいうと基準を切った段階で住民に告知し、1 年経過を見て改善が無ければ、路線廃止ではなく、減便等の実施をしている。ただし、通学利用がある場合は、対象としないなどの例外措置を設けて運用しているのが現状である。

循環線の料金値下げについては、そうした試行結果が出ているのであれば、再考する。中央病院、ポルカへの路線延長は、住民要望も強く、市街地の魅力アップに貢献すると思うので、試行する価値はあると思う。

○委員：連携計画であるため、JR との連携計画が必要ではないか。

○事務局：鉄道のダイヤを含めて検討する。

○専門員(運輸支局)：幹線路線を補完する生活福祉バス等の手段としての部分が膨らむことにより

幹線の乗合バス運行事業者の経営を圧迫し、結果として市の持ち出しが膨らんでしまうという傾向が全国的にみられる。こうした点を考慮していただき、幹線部分を担う乗合バス事業者の経営を圧迫しないように路線、ダイヤ、料金等を考え、将来にわたって維持できる水準をみなさんで検討していただきたい。また、一度スタートしたら、なかなか見直しがなされないので、継続的な見直しを実施していただきたい。

手続きに関して乗合事業者が変更する場合、変更時間はかからないが、タクシーがする場合時間がかかるので、余裕を持った計画を立ててほしい。

○委員：公共交通が利用されないのは、末端まで公共交通が無いから自家用車送迎が多くなると思う。そのため、補完輸送等を検討してほしい。また、見直しに当っては、地域や子供のある家庭を集めて協議してほしい。

○委員：福井市のモビリティマネジメントの事例は、アンケート調査によって住民意識が上がったということなのか。

○事務局：そのとおりである。通常のアンケートに動機付け冊子をつけて行った結果、住民意識が上がり、路線バス利用が増え、クルマの送迎が減少している。

○委員：今後のバスの利用を考えていく上で、さらなる少子高齢化等を考えると、住民意識も変えていく必要があると思う。

○委員：資料にある高梁～川上バスセンター間の乗降調査データでは、各バス停での乗降状況がわかりにくい。区間の利用状況を見るためのものか。

○事務局：この区間の再編計画資料として、区間の乗車状況を示したものであり、各バス停の乗降状況を見るためのものではない。

○委員：高梁の観光地の特性をどのように捉えているのか。また、観光タクシーのドライバーガイドの育成による効果等をどのように考えているのか。

○事務局：前回の会議に提出した観光アンケート結果に示すように3割は自家用車以外で訪れていて、観光タクシーや路線バスが現在あるにもかかわらず、交通に対する不満も多かった。運ぶ機能に加えてガイド機能を付加することによって、観光地としての魅力向上を図るとともに、付加価値付けによるタクシー事業者の収益を上げることを目的としている。ガイド育成にはあまり費用がかからないので、この補助事業でやってみたいと思う。

○委員：循環線の再編計画において吉備国際大学の協力体制等はできているのか。例えば金沢大学では、駐車場を廃止してバス利用を図っている。

○副会長：循環バスは、朝は大学生で満杯で、1台に乗り切れず、2台運行もなされている。大学としてはそうした対応を大変ありがたいと思っていると思う。

○委員：大学生の100円要望も多かったため、先にお話した100円での試行運行を行った。また、JRとの接続時間を待たせないようにダイヤを組んでいる。歩いて歩けない距離ではないので、待ち時間が大きいと歩いていってしまうとともに、帰りは歩く学生が多い。

○事務局：当初、インターネットで交通に関する大学生アンケートを行ったが、なかなか回答が集

まらず、そうした状況のみて大学側が自発的にアンケート用紙を配布して行ってくれた。
こうした状況から、協力いただけると思う。

(2) 高梁市地域公共交通総合連携計画事後評価について

○事務局説明：別紙「高梁市地域公共交通総合連携計画事後評価」参照

会長：意見等があれば事務局へご連絡ください。

(3) その他

◇今後のスケジュールについて

○事務局：2月15日～3月5日の期間でパブリックコメントを実施し、市民の意見を公募したいと考えている。パブリックコメントの実施にあたって、本日の協議内容を踏まえて一部修正し、計画素案を作成するので、パブリックコメント実施前に本会議で協議していただきたい。その後、パブリックコメントでの市民の意見を計画に反映させていきたいと考えている。

(承認を得る)

◇会議の公開について

○事務局：設置要綱において本会議は公開とされており、会議の議事録等を市のホームページ上で公開したいのでご承認をいただきたい。なお、委員名簿は出るが、発言内容についての委員名は出さない。

(承認を得る)

○会長：それではパブリックコメントまでにもう一度開催させていただき、詳細分析、課題、今後の基本的な方向等を示していただき、それをもとに最終的な計画につなげていきたい。長時間ありがとうございました。本日はこれで終わります。

4. 閉会（副会長）

本日の調査結果、検討資料には今後とも協議を重ねていかなければならないさまざまな課題が含まれていたと思う。次回もよろしくお願ひします。長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。